

(4) 導入する公園施設の概要

キトラ古墳周辺地区は、「遊んで学べる」歴史公園として、来園者が様々な体験を通して、キトラ古墳や古代飛鳥の歴史・文化について楽しみながら知識を深めてもらえるような公園を目標としている。

導入を検討している主な施設は以下のとおりである。

1) 古墳鑑賞広場

特別史跡であるキトラ古墳の歴史的意味を伝える植生や地形などの周辺環境を保全するため、高質な管理を進めていくとともに、古墳の全容が見渡せるよう広場を設け、季節感漂う野の花等による修景を行う。

2) 体験学習施設

本地区では、キトラ古墳を中心に古天文学や古墳壁画などの古代飛鳥の技術や文化について、見て、聞いて、触れて学べる体験的歴史学習が可能な屋内展示施設を配置する。

3) イベント広場

屋外での体験学習の広場として、古代の風習や行事体験、星宿図にちなんだ天文観測のイベントなどを実施していく。

4) 体験工房

飛鳥時代の当地区周辺は、大陸の技術を教えていた渡来人の里があった場所であったことから、この地域の歴史文化の継承をおこなうとともに、観光客が当時の飛鳥の文化や技術を学ぶことが出来る体験工房の設置を行う。来園者が実際に体験しながら学ぶことのできる場とし、専門のインストラクターの指導による単位の講座や教室を開催する。

5) 農業体験フィールド

棚田景観の保全・再生を目的として、本地区では現況水田及び耕作放棄地を体験フィールドとして位置付け、利用者・地域住民の参加や学校の環境教育を維持管理体制に取り込んだ農地の永続的な利用を検討していく。

6) 駐車場と循環バスの発着所

本地区では自家用車用と大型バス用の駐車場を確保し、村内循環バスの発着所とレンタサイクルのターミナルを合わせて設置し、パークアンドライドの拠点とする。また、飛鳥周遊の結節点としての情報提供サービスを行い、来園者の利便性の向上を目指す。

7) ボランティア活動拠点

本地区では、農地および樹林地の管理を地元の方々との協力をおこないながら周辺の風景と調和した公園づくりを目指す。また、公園管理や展示解説等に関するボランティアの育成を行うとともに諸活動の拠点となる場所を提供するなどの支援を図る。